

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公表番号】特表2009-526861(P2009-526861A)

【公表日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2008-555380(P2008-555380)

【国際特許分類】

A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/7125	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	31/7125	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月9日(2010.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下から選択されたポリヌクレオチドを備える単離された発現ベクターと、薬学的に受容

可能なキャリアとを備える、動物における血管新生を促進するための医薬品組成物を調製する方法：

(a) 配列番号1、配列番号3、配列番号5、配列番号7、配列番号9及び配列番号11、並びに、

(b) 配列番号2、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号10及び配列番号12のアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードする配列。

【請求項1】

配列番号10のアミノ酸配列を備えるポリペプチドに高い親和力で特異的に結合する抗体。

【請求項2】

配列番号4のアミノ酸配列を備えるポリペプチドの細胞外部分に高い親和力で特異的に結合する抗体。

【請求項3】

前記抗体はモノクローナルである請求項2又は3の抗体。

【請求項4】

前記抗体はポリクロナールである請求項2又は3の抗体。

【請求項5】

前記抗体はモノクローナルである請求項2又は3の抗体。

【請求項6】

ゼブラフィッシュL E C 3、C X C R 4又はE D N R Aの全部又は一部を生産する方法であって、

発現制御配列に操作可能に結合された配列番号1、配列番号3、配列番号5、配列番号7、配列番号9又は配列番号11の配列を備える発現ベクターを備える宿主細胞を、ゼブラフィッシュL E C 3、C X C R 4又はE D N R Aの全部又は一部の発現に適した培養条件下で培養し、

前記L E C 3、C X C R 4又はE D N R Aの全部又は一部を単離すること、
を備える方法。

【請求項7】

L E C 3、C X C R 4及びE D N R Aの全部又は一部をコードする核酸配列を備える単離されたポリヌクレオチドと、薬学的に受容可能なキャリアとを備える治療用組成物。

【請求項8】

請求項3の抗体と薬学的に受容可能なキャリアとを備える治療用組成物。

【請求項9】

配列番号2、配列番号4、配列番号6、配列番号8、配列番号10及び配列番号12から成る群から選択された少なくとも1つのアミノ酸配列を備えるポリペプチドと、薬学的に受容可能なキャリアとを備える治療用組成物。

【請求項10】

L E C 3の発現を抑制する血管新生を抑制するのに十分な量のポリヌクレオチドと、薬学的に受容可能なキャリアとを備える、血管新生関連の疾病を治療するための医薬品組成物を調製する方法。

【請求項11】

L E C 3、C X C R 4及びE D N R Aポリペプチドの全部又は一部をコードする有効量の第1のポリヌクレオチドと、VEGFポリペプチドをコードする有効量の第2のポリヌクレオチドと、薬学的に受容可能なキャリアとを備える、必要とする動物の血管新生を促進するための医薬品組成物を調製する方法。

【請求項12】

L E C 3、C X C R 4及び/又はE D N R A活性を抑制する化合物を同定する方法であって、試験化合物をL E C 3、C X C R 4及び/又はE D N R Aポリペプチドと接触させ、前記試験化合物がL E C 3、C X C R 4及び/又はE D N R A活性を抑制するかどうか判断することを備え、L E C 3、C X C R 4及び/又はE D N R Aの活性を抑制する試験化合物は、L E C 3、C X C R 4及び/又はE D N R Aのアンタゴニストであると同定される方法。

【請求項 1 3】

L E C 3、C X C R 4 及び / 又は E D N R A の前記生物活性は、L E C 3、C X C R 4 及び / 又は E D N R A に前記試験化合物を結合することにより測定される請求項 1 2の方法。

【請求項 1 4】

L E C 3、C X C R 4 及び / 又は E D N R A の生物学的な機能を抑制する有効量の細胞浸透性ペプチドを細胞に投与することを備える血管新生を抑制する方法。

【請求項 1 5】

V E G F の発現又は生物学的機能を抑制する化合物の投与をさらに備える請求項 1 4の方法。

【請求項 1 6】

以下から成る群から選択された化合物と、薬学的に受容可能なキャリアとを備える、血管新生を促進するための医薬品組成物を調製する方法：

(a) 配列番号 4 1、配列番号 4 3、配列番号 4 5、配列番号 4 7、配列番号のヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドを備える単離された発現ベクター、

(b) 配列番号 4 2、配列番号 4 4、配列番号 4 6、配列番号 4 8、配列番号 5 0、配列番号 5 2、配列番号 5 4、配列番号 5 6 及び配列番号 5 8 のアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードする配列を有するポリヌクレオチドを備える単離された発現ベクター、

(c) 配列番号 4 2、配列番号 4 4、配列番号 4 6、配列番号 4 8、配列番号 5 0、配列番号 5 2、配列番号 5 4、配列番号 5 6 及び配列番号 5 8 のアミノ酸配列を備えるポリペプチド。

【請求項 1 7】

血管新生を抑制するのに十分な量の S D F - 1 又は E T - 1 に結合する抗体と、薬学的に受容可能なキャリアとを備える、血管新生関連の疾病を治療するための医薬品組成物を調製する方法。